

域おこし協力隊として2人を任命しました。
 昨年の10月からワークショップやイベント、さまざまな活動を通して、新しい街の「未来のすがた」を考え動いてきた「益



地域おこし協力隊とは、おおむね3年以下の期間、赴任した地域で生活し、地元に着してさまざまな活動を行う町の非常勤の特別職です。
 町では10月1日、第一弾の地

地域おこし協力隊 が決定しました

より一層新しい試みが、ましきさいがいエフエムでは、企業の広報経験などある高本さんが加入したことで、より地域に密着した住民目線の情報発信が期待されます。
 今後、二人の活躍ぶりは、広報ましきやFacebookなどのSNSでご紹介していきます。

天気予報や行政情報、その他イベント情報の発信を行っている「ましきさいがいエフエム」。
 その番組の企画・制作を担当するのが「ましきローカルジャーナリスト」の高本梢さんです。
 益城町未来トークでは、外部からの視点を持った亀之園さんが加入したことで、

城町未来トーク」。その企画・運営やメンバーのサポートを担当するのが「益城町未来トークマネージャー」の、亀之園智美さんです。
 震災2週間後から継続して、

ふるさとの復興のため、そしてこの町の皆さんに笑顔届けられるような、「自分にできる何かをしたい」、という想いで活動を開始しました。

“地域の皆さんの声を町に届け、カタチにしていくこと”、“皆さんと一緒に町を盛り上げていくこと”が協力隊としての使命だと思っています。FMでは町の“よかとこ”情報と、皆さんの今！必要な情報を楽しく発信していきます。どうぞよろしくお願いします。



ましきローカルジャーナリスト
 高本 梢さん

熊本地震をきっかけに誕生した「益城町未来トーク」で、若い世代の方々が楽しみながら益城町の未来について考え、一つ一つ形にしていくなかで魅力を感じています。

皆さんをしっかりとサポートし、共に素敵な時間を過ごしていきたいと思っています！木山にある仮設笑店街敷地内のコンテナハウス mirai-baco. にいますので、お気軽にお立ち寄りください。地域の皆さんとの出逢いを楽しみにしています。



益城町未来トークマネージャー
 亀之園智美さん

被害で困っていませんか 有害鳥獣による農林産物被害防止のための 電気柵などの設置、購入費用を支援します

イノシシやアナグマなどの有害鳥獣による、農林産物への被害を防止するために電気柵などを設置または購入する費用（人件費を除く）の一部を支援します。

補助対象者 農林業者

補助率 事業費用の2分の1以内
 ※ 限度額：1事業につき10万円

対象となる設備等 電気柵、防護ネット、ワイヤーメッシュ柵
 鳥獣対策用資材

※ 平成29年4月1日以降、電気柵などを設置または購入した経費を対象とします。

園産業振興課農政係
 ☎ 286 - 3277

